



厚生労働省国産医療機器創出促進基盤整備等事業
 浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション
 JST地域産学官共同研究拠点整備事業「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業」

MEDICAL INNOVATION FORUM 2015

メディカルイノベーションフォーラム

平成27年 2月26日(木) 14:00~18:00 (情報交換会 18:15~20:00)
 ホテルクラウンパレス浜松 4F 芙蓉の間 静岡県浜松市中区板屋町110-17

主催:浜松医科大学
 共催:静岡大学、豊橋技術科学大学、光産業創成大学院大学、静岡県、浜松市、浜松医工連携研究会(浜松商工会議所)
 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構

14:00~14:05 **開会挨拶** 主催者代表 浜松医科大学 副学長 蓑島 伸生

来賓挨拶
 ・厚生労働省 医政局 経済課(予定)
 ・文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課(予定)

14:25~15:35 **第一部 基調講演「産学官連携による日本の医療機器開発の動向と将来展望」**

国立循環器病研究センター 研究開発基盤センター長 妙中 義之 氏

プロフィール

1976年 阪大医学部卒。同年同大第一外科入局。大阪厚生年金病院、大阪府立病院を経て、'80年 国立循環器病センター 人工臓器部研究員。米国ユタ大、米国テキサス心臓研究所に留学。帰国後、国立循環器病センター 研究所 人工臓器部室長、部長を経て、'07年より研究所 副所長。'10年から研究開発基盤センター長を併任。30年にわたり最先端の人工肺、人工心臓開発に取組む。'06~'07年の間、国際人工臓器連合Presidentを務める。'09年に「日本の技術をいのちのために委員会」を設立。ものづくり企業の製造技術を医療機器の開発に役立てる活動を支援し、幅広く提言活動を行っている。産学官連携功労者表彰、科学技術分野の文部科学大臣表彰など各賞受賞。



休憩(15分間)

15:50~17:55 **第二部 パネルディスカッション**

「地域における医療機器開発と事業化の課題 ~ひと・物・カネの観点から~」

■パネリスト

- 光産業創成大学院大学 光医療・健康分野 教授 江田 英雄
- 静岡大学 イノベーション社会連携推進機構 コーディネーター・特任教授 鈴木 正人
- 豊橋技術科学大学 研究推進アドミニストレーションセンター
科学技術コーディネーター 田中 恵
- 浜松商工会議所 浜松医工連携研究会 代表幹事 山内 致雄
- (公財)静岡県産業振興財団 ファルマバレーセンター 所長 植田 勝智 氏
- (公財)浜松地域イノベーション推進機構 地域連携コーディネーター 荻生 久夫
- 国立循環器病研究センター 研究開発基盤センター長 妙中 義之 氏

■モデレーター

浜松医科大学 産学官共同研究センター長・教授/
 はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 研究統括 山本 清二
 (各大学からの発表後に、ディスカッションを予定)



17:55~18:00 **閉会挨拶** (公財) 浜松地域イノベーション推進機構 理事長 津田 紘

18:15~20:00 **第三部 情報交換会** (会場: ホテルクラウンパレス浜松 14F 花の間) 【参加会費 4,000円 / 1名】

MEDICAL INNOVATION FORUM

メディカルイノベーションフォーラム

2015



開催趣旨

メディカルイノベーションフォーラムは、浜松・東三河地域を中心とした医療分野の製品・技術開発の推進を目的として開催され、今回で第8回目を迎えます。

本地域は、浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション(文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラム)、文部科学省革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)に採択され、産学官が一丸となって積極的に光・電子技術を基盤とした新産業創出を進めているところです。2010年度からは「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」(JST地域産学官共同研究拠点整備事業)が設置され、医工連携活動を活発に展開してきました。加えて、2014年度には浜松医科大学が厚生労働省の国産医療機器創出促進基盤整備等事業の実施機関として採択されたことを受けて、地域の医療機器企業の開発を担う人材の育成が図られ、新たな医療機器開発に関する医工連携活動の展開が期待されています。

そこで今回のメディカルイノベーションフォーラムは、基調講演に国立循環器病研究センターの妙中義之先生をお招きして、医療機器の開発に関する医工連携活動の状況や課題を医療機器の開発に携わる多くの方々にご覧いただき、地域の産・学・官のパネリストの方々にご覧いただき、医療機器開発に関する取り組みや課題について議論していただきます。

医療機器の研究開発・技術開発・製品開発・事業化などに関心をお持ちの多くの皆様のご参加をお待ちしております。

国産医療機器創出促進基盤整備等事業とは？

医療ニーズを満たす医療機器の実用化が医療の発展に寄与することから、医療機関と医療機器企業との連携を効果的に進める必要があり、その鍵を握るのは医療機器の研究開発を担う人材という観点に立って、医療機関において医療機器の開発人材を育成することを通じて、医療機器開発を担う医療機関の体制を整備し、国内外の医療ニーズを満たす医療機器開発の推進を図るための事業です。

浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーションとは？

産学官金が横の関係で結び付く産業構造を構築し、最先端の光・電子技術を基盤として、「輸送機器用次世代技術産業」「新農業」「健康医療産業」「光エネルギー産業」の4分野で新産業創出を目指す地域イノベーション戦略支援プログラムのひとつです。

「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」とは？

浜松東三河ライフフォトニクスイノベーションが創出を目指す4つの新産業の1つである「健康医療産業」を担い、地域の特徴を活かした技術力と産業開発力と医学シーズ・医療ニーズとの融合を促進することにより、新技術の事業化を推進する拠点です。

フォーラムお問い合わせ先

国立大学法人浜松医科大学 知財活用推進本部 TEL.053-435-2681 URL:<http://www.hama-med.ac.jp/>

厚生労働省国産医療機器創出促進基盤整備等事業

浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション

JST地域産学官共同研究拠点整備事業「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業」

メディカルイノベーションフォーラム2015 参加申込書

参加費 無料(情報交換会 4,000円/1名)

申込要領 下記参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailにてお申し込み下さい。

申込期限 平成27年2月19日(木)

メディカルイノベーションフォーラム

参加申込書(国立大学法人浜松医科大学 知財活用推進本部)

FAX 053-435-2179

E-mail chizai@hama-med.ac.jp

企業・団体名	TEL	-	-
	FAX	-	-
所在地	〒		
所属・役職			
氏名			
E-mail			
情報交換会	出席 ・ 欠席		出席 ・ 欠席